

# 出席者一覧

## 第1部 河川協力団体の活動発表

別紙1

### 1. 河川協力団体出席者名簿

指定番号	団体名	役職	氏名	出席状況
1	一般財団法人 渡良瀬川遊水地アクリメーション振興財団	業務部長	宮崎 悟	○
2	公益財団 ハーモニセンター	施設長	山根 大	○
3	NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会	事務局次長	大井 里美	○※13兼ねる
4	水の郷さわら、川の駅ガイド会	代表	田辺 芳広	○
5	(一社)霞ヶ浦市民協会	理事長 専務理事	市村 和男 栗野 哲雄	○ ○
6	NPO法人 水辺基盤協会	代表	吉田 幸二	○
7	川づくりネットワークきりゅう	副会長	角田 亘	○
8	高麗川ふるさとの会	会長	三浦 輝夫	欠席
9	荒川自然を守る会	事務局長	菅間 宏子	欠席
10	比企の川づくり協議会	事務局代表	渡辺 仁	○
11	NPO法人 あらかわ学会	副理事長	三井 元子	○
12	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	事務局長	伊藤 浩子	○
13	NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会	事務局次長	大井 里美	○
14	公益財団法人 河川財団	次長	山田 政雄	○
15	NPO法人 自然環境アカデミー	事務局長	野村 亮	欠席
16	NPO法人 多摩川センター	代表理事	山道 省三	○
17	NPO法人 鶴見川流域ネットワーク	事務局長	小林 範和	○
18	特定非営利活動法人 とどろき水辺	理事長	御前 大	欠席
19	茨城生物の会	会長	小菅 次男	○
20	かなな倶楽部	事務局	浦部 隆	○
21	Yamanasniみずネット	事務局	馬場 邦義	○
22	一般社団法人 山梨県河川防災センター	代表理事	望月 誠一	○
23	富士川ファンクラブ	代表	樋口 清江	○
24	花と一万人の会	副会長	大内 修	○
25	神流川ビジョン推進協議会	事務局	青木 成幸	○
26	特定非営利活動法人 多摩川干潟ネットワーク	理事長	小泉 茂	欠席
27	馬入水辺の楽校の会	会長	臼井 勝之	欠席

### 2. 関東地方整備局内出席者名簿

	事務所名等	役職	氏名	出席状況
事務所	利根川上流河川事務所 調査課	専門調査員	山田 崇	○
	利根川下流河川事務所 地域連携課	専門調査員	糺谷 卓也	○
	霞ヶ浦河川事務所 湖沼環境課	課長	勝俣 猛	○
	下館河川国道事務所 調査課	専門官	福田 太一	○
	渡良瀬川河川事務所 調査課	課長	大山 修	○
	荒川上流河川事務所 河川環境課	課長	大杉 昌巳	○
	荒川下流河川事務所 管理課	専門官	磯部 征史	○
	京浜河川事務所 河川環境課	課長	樋口 淳司	○
	常陸河川国道事務所 調査第一課	課長	岩淵 光生	○
	高崎河川国道事務所 河川管理課	課長	藤田 美香	○
	甲府河川国道事務所 河川管理課	専門職	福嶋 喜幸	○
	本局	水政課	課長補佐	山田 弘幸
河川管理課		課長	矢作 智之	○
		課長	伊藤 和彦	○
河川環境課		課長補佐	金子 隆信	○
		係長	宮本 直哉	○

番号	河川協力団体名	発表者	発表議題
1	公益財団法人 ハーモニセンター	山根 大	河川騎馬パトロールの推進・啓発・普及事業について
2	水の郷さわらガイド会	田辺 芳広	水の郷さわら、川の駅防災教育展示室において防災教育及び利根川における改修の歴史、利根川の歴史と地元の発展(舟運)等の啓蒙活動について
3	NPO法人 水辺基盤協会	吉田 幸二	霞ヶ浦の水辺の清掃活動を通じて
4	比企の川づくり協議会	渡辺 仁	比企の川づくり協議会での、クリーンアップ活動と環境学習の実施例について
5	NPO法人 あらかわ学会	三井 元子	川の防災と川まちづくり支援活動について
6	NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会	大井 里美	「川へいこうよ！」 当法人では、河川法が開催されてから「川に学ぶ社会」を実現するために川で体験活動を行うために指導者を育成してきた。Eボートで旧中川から出て荒川ロックゲートを通船して、小松川の船着き場の前を通りまた、旧中川へ戻ってくる活動を行っている。荒川ロックゲートの手漕ぎの舟で通船することはとても迫力がある。もっと、水辺の船着き場がいろいろと利用できれば面白い活動に繋がって、川を利用できると思われる。
7	特定非営利活動法人 多摩川センター	山道 省三	・夏休み多摩川教室(主催 多摩川流域協議会)への参画について ・「川の日」ワークショップ関東大会(主催:同大会実行委員会)の開催について ・多摩川サロンについて
8	NPO法人 鶴見川流域ネットワーク	小林 範和	鶴見川流域における活動紹介について ・クリーンアップ作戦 ・河川学習支援 ・自然植生回復活動 等
9	花と一万人の会	大内 修	地域住民の手によって河川敷の美化活動やポピー畑などの整備が進められて、人々が集う交流・憩いの場所として定着するまでの経緯について ・現在の活動の簡単な紹介。 ・河川協力団体としての活動内容。(パトロール、ごみ拾い等) ・今年9月に発生した豪雨災害の復旧作業について。